

3年生の様子 社会科・総合「いざ、小机城！しろうこたんけんたい！」

小机城についての講話

社会科「まちたんけん」の活動で見つけた小高い山。そこにはかつてお城があったことを地域にお住まいの川上さんから伺いました。そして、川上さんと横浜市歴史博物館の阿諏訪さんに学校に来てもらい、小机城があった時代のことや小机城の歴史についてくわしく説明してもらいました。

子どもたちにとっては、たんけんで見つけた小高い山と小机城がつながっただけでなく、たんけん活動の最後に見学した雲松院（寺）に小机城の城主である笠原氏のお墓があることも知る機会となりました。



「いざ、小机城へ！」まちたんけん

小机城の歴史について学んだところで、いよいよ小机城址にまちたんけんに出掛けました。

城までの道中、当時の城の様子を再現した模型を城町会代表の木村さん宅でみせてもらいました。やぐら台や空堀など、敵の攻めから城を守るしかけの巧みさに、子供たちも興奮していました。



本丸広場



虎口（こぐち）をくぐると、本丸広場です。川上さんに手作りの紙芝居を読んでもらいました。主人公のけんちゃん小机城に行き、おじいさんに小机城の歴史を教わるお話で、子どもたちにとって難しい戦国時代の話も身近に感じられました。

紙芝居に出てきた空堀（からぼり）を実際に歩きました。当時は、12mの深さがあったそうです。

子どもたちから「上から攻められたら、逃げられない！」という声が出るほど、深さを実感できました。

続日本100名城にも選ばれた小机城の奥の深さに感動しきりの一日でした。

「次は、自分たちで紙芝居を作りたい！！」という声が上がりました。



5年生の様子 【理科 花から実へ】

【顕微鏡を使って花粉を観察】

理科の「花から実へ」の学習で、花粉の観察をしました。まずは、観察するために顕微鏡の使い方を確かめました。接眼レンズ、調節ねじ、スライドガラスなど、新しい言葉をたくさん学びました。グループで協力しながら観察することができました。



調節ねじでピントを合わせています。これがなかなか難しい。少しずつ回してはっきり見えるところを探します。



ステージに乗せたスライドガラスをクリップで留めています。



「見える見える！」ピントを合わせたらくっきりはっきりと形が見えます。花によって花粉の形が違うことに気がきました。



顕微鏡で観察したらプリントにかきこみました。グループで仲良く交代しながら観察しました。

【どれがおばな？ めばな？】

おばなとめばなの花のつくりを観察しました。観察したのは「冬瓜（トウガン）」と「ツルレイシ（ゴーヤ）」です。理科支援員さんが育てているものを学校に持ってきていただきました。

「さて、おばなとめばなのつくりの違いはどこでしょう。」実際に見たりさわったりしながら、記録していきました。はじめは区別がつかなかったのですが、見比べるうちに違いが分かるようになってきました。ぐんぐん伸びているツルレイシのつるに小さな実が付いていることに気づき、「かわいい。」「食べたい。」などと、思い思いにつぶやいていました。

花の裏側、花の下
のところを見ると、
おばなかめばなかわかるね。



おばなとめばな
どっちかなあ。

本当に実がついている！

